

令和4年度 郁政クラブ 行政視察報告書

視察日 : 令和4年11月15日(火)

視察先 : 新潟県長岡市 「長岡花火ミュージアムの運営状況」について

「長岡花火大会会場」現地視察

視察目的 : 花火ミュージアムの利用状況調査(土浦市の花火常設展示施設新設提案のため)

参加者 : 海老原 一郎

◆「長岡花火ミュージアム」について

1. 施設概要

「長岡花火ミュージアム」は、道の駅「ながおか花火館」敷地内に、令和2年9月、道の駅開業と同時にオープンした。花火ミュージアムは、1階は長岡花火大会のポスターや歴史が分かる説明版、3尺玉のレプリカ、打ち上げ花火筒など無料の展示施設と花火グッズショップ、2階は、長岡花火の映像だけでなく座席も振動して長岡花火を体感できる有料のドームシアターとなっている。

2. 施設整備(「長岡花火ミュージアム」も含めた道の駅「ながおか花火館」)について

「長岡都市計画マスタープラン」に、平成29年3月に花火の施設も備えた「道の駅」整備を盛り込んでから、事業実施計画策定、調査・設計・用地取得、建築・整備工事を経て、令和2年9月のオープンに至る。

・総整備事業費：約29億円（市：約21億円、国：約8億円）

・管理運営手法・管理運営費

施設や外構を市が整備し、管理運営は指定管理者制度を導入して民間のノウハウを活用

長岡花火ミュージアムの委託料は、15年で総額約8億5千万円（年間：約5千8百万円）

指定管理者トライデントながおか（株）は、年度ごとの経営状況に応じて、収支差額の一部を

市へ納付（利益還元納付金）

◆主な質疑応答

Q：コロナ禍の中でオープンしてから、入客数は？

A：最近は少しずつ、増えている。

◆感想

長岡花火ミュージアムの目玉になっている2階のドームシアターで長岡花火大会の歴史や大花火

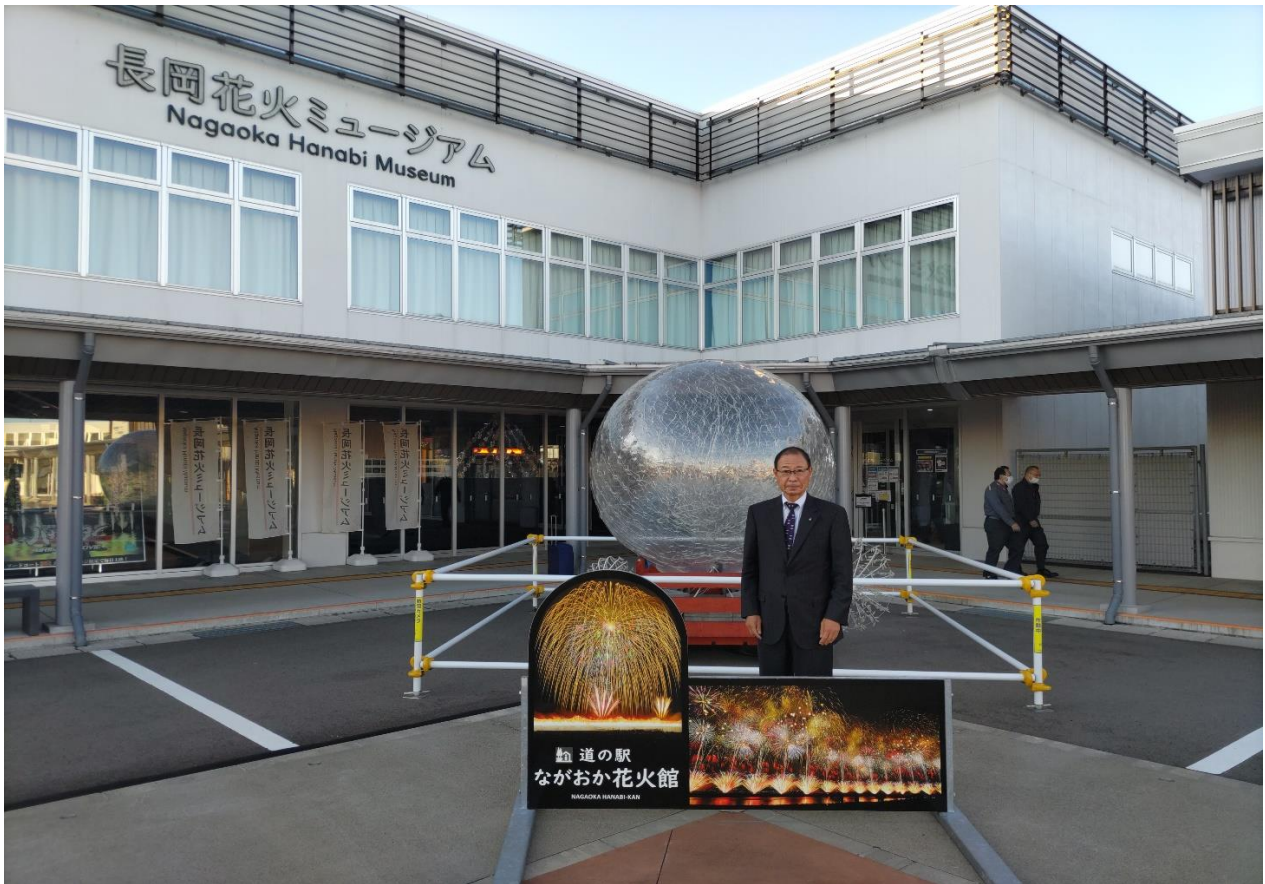
の映像を、振動する座席で見て感動しました。1階は、花火大会のポスターや、花火大会の説明版、

三尺玉のレプリカなど、長岡花火の歴史や魅力について良く分かるコーナーだけでなく、たくさん

の種類の花火グッズを販売しているショップコーナーも備えていました。我が土浦市には、日本三

大花火大会が開催されているにもかかわらず、常設の花火の展示施設がありません。

是非とも、常設の花火の展示施設を提案します。



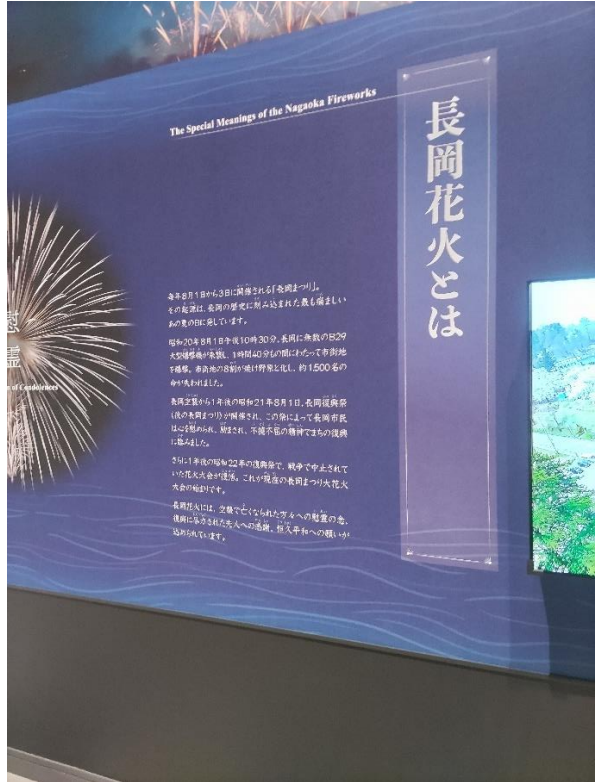
長岡花火ミュージアム前にて



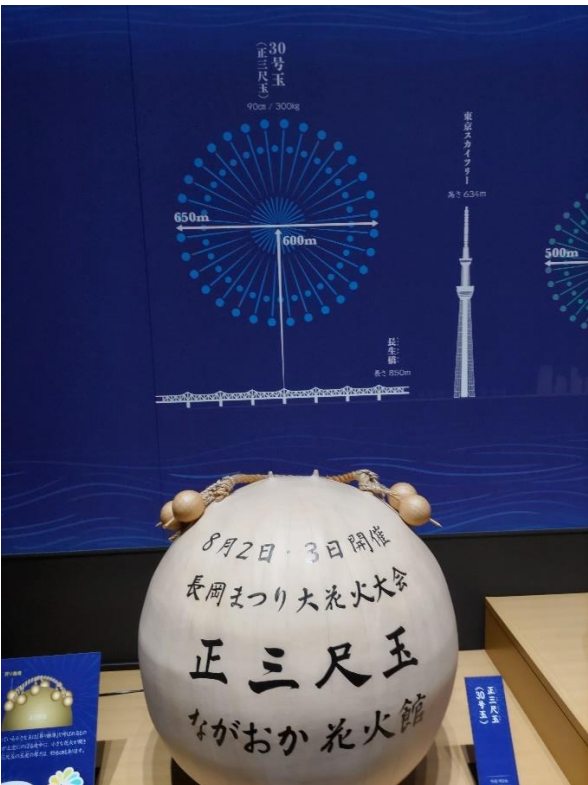
道の駅「ながおか花火館」全景



花火ミュージアムドームシアター映像



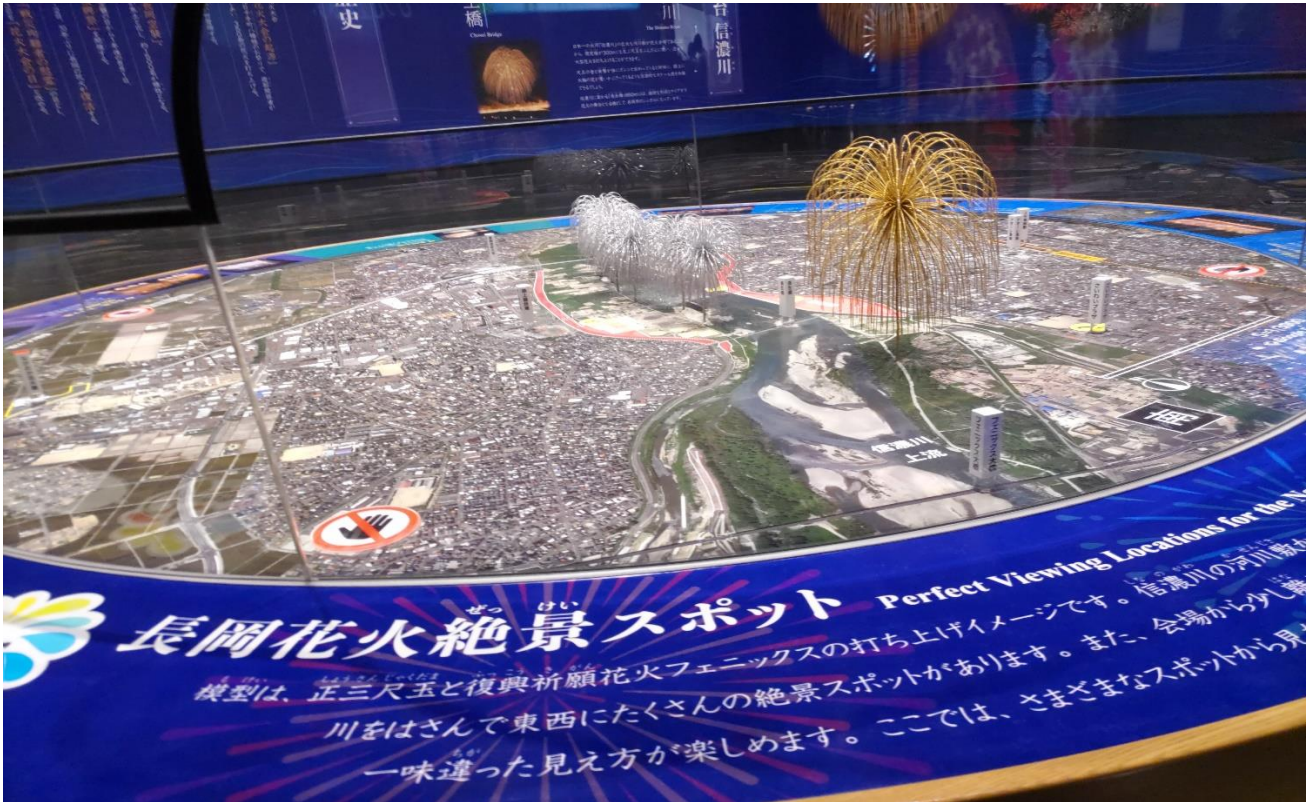
花火ミュージアム長岡花火説明版



花火ミュージアム長岡花火大会三尺玉レプリカ



花火ミュージアム今年の長岡花火大会ポスター



花火ミュージアム長岡花火大会絶景スポット紹介



花火ミュージアム長岡ご当地ヒーロー「ハナビスター」



長岡花火大会会場河川敷